



発行日 2021年7月15日
発行人 田辺 証夫
編集人 小堀 日出春

LMI世界宣教会はリーベンゼラ・ミッション・インターナショナル（LMI）に加盟している日本の宣教団体です。

Bangladesh Report

バングラデシュ医療宣教師

近藤 恵

みなさまお元気ですか？こちらは、バングラデシュらしい雨季に突入しています。

病院の危機

ジョイランクーラ・クリスチャンホスピタルは帝王切開の件数が月100件以上あるのが普通でした。150件に及んだこともあります。ところが3月からピタッと減ってしまい、月70件台になっています。大きな理由は近くの町ハルアガットにできたクリニックが帝王切開を始めたからのようです。そこでは、ジョイランクーラより低額で帝王切開ができます。合併症を起こさないような症例を選んで、抗生剤を大量に使い、術後3日で退院させ



脳出血から回復しつつあるドクター・タポシュ(左)、病院運営の責任を担うドクター・ルーシー(中央)とともに

【祈りの課題】

- 病院の経営のために。
- ドクタータポシュの回復と病院の大きな責任を持つドクタールーシーのために。
- 感染急増のコロナから守られるように。
- 母と姉の救いのために。

るそうです。ジョイランクーラでは、少なくとも術後7日間入院し、抜糸してから退院します。栄養状態の悪い人も多く、また家に帰すと清潔に保てないので、問題が起こることを恐れるのです。症例を選ぶということもしません。でも事情を知らない一般の人たちは、安くできて、早く退院できる、新しいきれいなクリニックを選ぶでしょう。大きな収入源の帝王切開が減れば病院の存続にかかわるため、病院の首脳部は頭を抱えています。

ジョイランクーラに行けば

そんな中、ジェスミンが入院してきました。9か月前に自宅近くの病院で帝王切開をし、その後、創（きず）が感染し、再縫合をした後、再び感染ということを経験していました。

看護師さんが手術室で創の処置をしている時に、開いた創の頭側のおなかを押すと膿が出てくることを、私に教えてくれました。エコーをすると創の頭側にまるで石があるかのように超音波を反射する物体があります。次の日、開腹手術をしました。出てきたのは、手術時に使ったタオルでした。お腹をきれいに洗い、手術は終了しました。

ジェスミンの家は、病院から遠く離れています。でも、「ジョイランクーラに行けば助けてくれる」と思って来ているのです。こういう患者さんたちは、多くの場合お金持ちではないし、手間暇がかかるので大きな収入源にはなりません。でも、ジョイランクーラの存在意義はこういう患者さんたちのためなんだろうと改めて思っています。

【近藤恵医療宣教師を支える会】

〒329-0403 栃木県下野市医大前3-7-1

☎0285-44-7564 自治医大前キリスト教会気付

e-mail:meg0_02007@yahoo.co.jp

【現地】 Garo Baptist Convention

Christian Health Project

Joyramkura.p.o. Haluaghat 2260

Mymensingh, BANGLADESH



村上正道
LMI世界宣教会理事



「感謝して献金を主に持って行く」

昨年から会計担当理事としてLMI世界宣教会でご奉仕させていただいています。そしてかもし聖書教会のお二人の姉妹方が会計の実務を担当してくださり、そのようにして私たちはチームで大切な会計の働きを担わせていただいています。

会計担当理事としての働きの打診があった時に、私にできるだろうか正直不安でした。それでも、主の助けをいただきながら、できる限り務めさせていただこうとの思いが祈りにより与えられ、会計の働きをお引き受けさせていただくこととなりました。そして、その働きの中で私自身が主から多くの恵みを受けています。その恵みの一つが、各地に遣わされている宣教師の働きを経済的な面から支えるということです。主に召された者として宣教師は経済的

な心配をすることなく、与えられた務めに専念することが求められています。そのためにも会計担当のチームとして、その働きに召されている私たちが常に祈り深くし、多くの兄弟姉妹や諸教会から献げられた大切な献金を知恵をもって思慮深く用いなければならないことをいつも思われています。苦勞もありますが、主に仕える恵みを受けている感謝と喜びにまざるものではありません。

そして、私たちの会計担当チームの中心には、宣教の主であるイエス・キリストが常にいてくださいます。ある意味、私たちがなすべきことは献げられた献金を感謝をもって主イエスのところに持って行くことです。それは、五つのパンと二匹の魚でそこにいたみなを満腹にさせた（マルコの福音書6章32-44節）イエスご自身が、今も献げられた献金を豊かに祝福して、すべての必要を豊かに満たしてくださることを私たちが信じているからです。これをご覧の皆様方からの尊い献金に心から感謝いたします。そのようにしてこれからも献金をもって宣教師を支える恵みとともにあずかってまいりたいと思われています。

（湘南のぞみキリスト教会牧師）



昨年9月に就任した新任の世界宣教部長（Director of Global Ministries）デビッド・ヤーゼツ師を紹介させていただきます。

神学校を卒業後、妻のアネット（ゲルスト宣教師の子として日本で生まれ育った）とともに、短期宣教プログラム「IMPACT」を開発しました。その後、5年間、宣教師としてパプアニューギニアへ派遣され、首都ポートモレスビーのスラムでユース・ミニストリーを築きました。ドイツに帰国後、リーベンツェル応用化学大学の学生生活部長を経て、ヨーロッパ・アメリカ・東アジアの部長として宣教団の

グローバル・リーダーシップチームの一員に任命されました。2020年9月15日に行われた秋の宣教大会でリーベンゼラ宣教団の新しい世界宣教部長として就任しました。

ヤーゼツ部長は、世界宣教のデジタル化、若手の奨励とリーダーの育成を将来の焦点と見なしています。若い世代を世界宣教の目的に引き入れることが重要だと、こう主張しています。

「以前からずっと、人々や教会が自分や身近な環境よりも世界に目を向けることが少ないため、世界宣教は横着をしてしまうという課題に直面してきました。課題は、メインをメインにすることです。す

べての人が救われて、真理を知るようになるために（1テモテ2:4）」。

VOICEをお読みになる皆様は心がすでに世界宣教のために動いていると確信しています。世界宣教の課題が若い世代にも重要性を失うことがないように、一緒に頑張りましょう。主にあって。

（アンドレアス・グロース：
LMI-Jチームリーダー）

▼D.ヤーゼツ師家族



New York Report

ニューヨーク周辺邦人宣教・宣教師
笹川雅弘・由利子

迎え入れる喜びと送り出す働き

主の御名を賛美いたします。5月23日のペンテコステに1名の受洗者と1名の転入会者が与えられ、7月にはもう1名の宣教協力者が教会員として加わってくださることになりました。一方、2018年以来礼拝奉仕で中心的な働きをしてくださってきた山崎ファミリーと、これまで熱心に求道されてきていたIファミリーを6月に日本へと送り出しました。7月末には、やはり今まで教会形成の中核としてご奉仕してくださった和泉ファミリーをフロリダ州へと送り出すことになりました。



山崎ファミリーのために祈る笹川師（右から2人目）

コロナ禍からの回復と主のみわざへの期待

NY州では6月にワクチン接種率が7割を超え感染者数が大幅に減少したことを受け、コロナ禍の中で設けられていた集会規制がすべて撤廃され、通常生活に戻りつつあります。6月27日には、午前

連絡先：LMJ世界宣教会 熊久保公義
電話：045-931-3312
Mail: kimikuma1126@gmail.com
HP: <https://nymissionsasakawa.wixsite.com/support>



礼拝後に開かれたバーベキューの参加者たち

のNYめぐみ教会での礼拝奉仕の後、かつて駐在員時代に通っていたニュージャージー日本語キリスト教会の礼拝奉仕に招かれ、礼拝後には交わりの時間も与えられ感謝でした。

赴任してすぐに、今まで車の両輪的存在として教会の働きを支えてくれてきた二つのファミリーを送り出すことになり、心細さがないといえようそになります。しかしコロナ禍以前のような宣教活動が再開できる社会的状況となってきたことに伴い、新しいメンバーが加わった現教会員と宣教協力者たちの助けを借りつつ、今年是一日だけの子どもデイキャンプを7月11日に教会で行うことになりました。また10月頃からゴスペルワークショップが再開できるよう打ち合わせを行っています。主のみわざを期待しつつ、支え合って主にお仕えさせていただきます。引き続きお祈りとご支援を賜りますようよろしくお願いいたします。

【祈りの課題】

- 5月23日に受洗された新場裕美さんの信仰生活とご家族の祝福のために。
- 日本に帰国された山崎ファミリー、フロリダに引っ越される和泉ファミリーのそれぞれの地での働きと、日本に帰国された求道者ご家族の救いのために。
- NYめぐみ教会に転入会された原栄子さんと転入会を予定している方の働きが祝されるように。
- 7月11日の子どもデイキャンプが守られ宣教のために用いられるように。
- 10月に再開をめざしているゴスペルワークショップの準備のために。
- 宣教師夫妻の健康が守られ経済的必要が満たされるように。

日本から世界へ

「私は福音を恥としません。福音は、ユダヤ人をはじめギリシア人にも、信じるすべての人に救いをもたらす神の力です。」

(ローマ1:16=新改訳2017)

JOMAに再加盟

去る5月11日、「2021年度JOMA通常総会」がオンラインで行われました。JOMAとは「Japan Overseas Missions Association海外宣教連絡協力会」のことで、日本にある海外宣教に携わる諸団体の連絡会です。私たちLMI世界宣教会は一度退会した経緯があるのですが、かつての反省と世界宣教への決意も新たにJOMAに再加盟することを理事会及び総会において決議し、JOMA通常総会において加盟が審議され承認されました。現在、私たちも含めて19の団体が加盟していま

す。

どのような協力ができるか、今後理事会において検討されていくこととなりますが、関係諸団体が派遣している国々の文化や状況を知り、祈りつつ、主がLMI世界宣教会になして下さったみわざ、現在に至るまでの戦いなどを分かち合いながら、心を一つに世界宣教に携わって行くことになるでしょう。どうぞ今VOICEを手に取り読んでくださっている皆様も、この時代にあって求められている宣教の働きのために、主が私たちをも用いてくださるようにお祈りください。またJOMA加盟によって、日頃からLMIの働きをサポートしてくださっている、愛する諸教会、兄弟姉妹の世界宣教への想いが熱くされて行くことを願っています。これからも、神がひとり子をお与えになったほどに愛してくださっている世界に住む人々に主の福音が届けられるために、ともに励んで参りましょう。

(第3面関連写真) リッジウェイ教会の会議風景



一人の姉妹(中央)の洗礼式に参加した兄弟姉妹たち

理事会便り

★近藤恵医療宣教師が派遣されているジョイランクーラ・クリスチャンホスピタルの働きを覚えてお祈りください。ドクター・タポシュの健康の回復、ドクター・ルーシーの働き、病院の経営。近藤先生の健康が守られ、お働きの上に主の祝福がありますようにお祈りください。同刻の祈りにもご参加ください。

★笹川雅弘・由利子宣教師夫妻

の働きの上に主の守りと祝福が豊かにありますように。主が人的、経済的必要なすべてを満たして下さるように。すべての霊的戦いに勝利者なる主イエスの助けがあるように。続けてのご支援をお願い致します。

★各宣教師を送り出したそれぞれの支える会、また理事会の働きが、宣教師を正しくサポートするために用いられますように。何よりも理事会において始められた祈禱会が祝福されますように。

【祈り】「あらゆる祈りと願いによって、どんなときにも御霊によって祈りなさい。そのために、目を覚ましていて、すべての聖徒のために、忍耐の限りを尽くして祈りなさい。また、私たちのためにも、私が口を開くときに語るべきことばが与えられて、福音の奥義を大胆に知らせることができるよう、祈ってください。」

(エペソ6:18-19)

(田辺証夫・LMI世界宣教会理事長)

LMI世界宣教会

(LM-J 本部& ☎226-0003 横浜市緑区鴨居2-29-4(かもい聖書教会気付 ☎&Fax 045-931-3312)

会計事務局) (会計)e-mail: LMJ@outlook.jp

→ 献金送金の際、「ゆうちょ銀行通帳」から電信振替(ATM)をご利用されると振替用紙より割安で送金できます。

(LMI) <http://www.liebezell.org/>(ドイツ語), www.liebenzell.ca/(英語) 郵便振替 00110-1-91993「LMI世界宣教会」